

重機盗被害9億円超

小諸署など新たに4容疑者逮捕

関東申信越地方などで油庄シヨベルが相次いで盗まれた事件を調べている小諸署と県警捜査3課、新潟県警は3日、既に逮捕した茨城県の7人、盗みの罪で6人は公判中、1人は実刑の一部と共謀し、群馬県や千葉県で油庄シヨベルを盗んだ疑いで、新たに千葉、埼玉、茨城県の男計4人を逮捕したと発表した。同署などは、この4人を含む計11人のグループが、2009年7月ごろから昨年11月ごろにかけて長野など9県で計120件の盗み(未遂を含む)をしていたことを裏付け、被害額は計約9億1100万円に上るとしている。

新たに逮捕されたのは、千

葉県野田市の会社役員紀野隼人(63)、埼玉県桶川市の会社員和田清二(56)、茨城県坂東市の会社員加藤和男(67)、同県境町の自営業金子彰彦(40)の4容疑者。

紀野、和田、加藤の3容疑者の逮捕容疑は昨年7月31日、茨城県坂東市の中古車販売会社役員木村重幸被告(41)ら5人と共謀し、群馬県千代田町で油庄シヨベル1台(約200万円相当)を盗んだ疑い。金子容疑者の逮捕容疑は、木村被告を含む別の組み合わせの5人と共謀し、12年2月14、15日、千葉県柏市で油庄シヨベル1台(約600万円相当)を盗んだ疑い。

小諸署は、新たに逮捕した

4容疑者は油庄シヨベルの解体や転売に関わっていたとみている。

同署によると、長野県内の被害は長野市1件、松本市1件、小諸市1件、佐久市2件。被害額は計1億8500万円。